

5月27日(月)

## 勇 気

# 今日のカ

2024年5月27日～6月2日

翻訳 浦部 言

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています  
※翻訳者・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

聖書朗読 使徒の働き 4:1～10

わたしはあなたに命じたではないか。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主が、あなたの行く所どこにでも、あなたとともにあるからである。」

ヨシュア 1:9

ある日、キリストにある兄弟が我が家のキッチンで♪雄々しくあれ、強くあれ♪と、ヨシュア 1:9に基づいた子ども讃美歌を歌い出しました。

勇気は、私達が逆境にある時に希望を与えます。使徒の働きにおいて、ペテロとヨハネは、足のなえた男性をイエス様の御名によって癒やしたあとに捕らえられました。彼らはイエス様の復活を宣べ伝えていましたが、それは当時の権力者にとっては脅威だったのです。ペテロはこれらの指導者たちや祭司たちに立ち向かいました。相手は、ゴリヤテ(編注:ダビデと戦って倒されたペリシテ人の巨人)のような1人の敵ではなく、イエス様を十字架につけた群衆という全勢力でした。何の権威によって、また、だれの名によって、足のなえた男性を癒やしたのかと問われたとき、ペテロは全てはイエス様の御名によるものだと言いました。

1人の迷える人を神様に導くことは、大勢の力ある敵に立ち向かうのと同じくらい勇気を必要とすることです。ペテロには、主がともにおられるということを感じるために、心の中で“雄々しくあれ、強くあれ”と歌う必要はなかったかもしれませんが、私にとっては、誰かにイエス様のことを話すときに必要な勇気を与えてくれる大切なものとなっています。ペテロは聖霊に満たされ、証しをする勇気を与えられました。

讃美歌 267 神はわがやぐら

祈り 父なる神様、どんなときでもあなたの御名を宣べ伝える意志と勇気を持てるよう、私たちの歩みをお導きください。すべての関わりにおいて、ふさわしい言葉と行いを与えてください。いつもあなたの愛を示すことができますように。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

テキサス州 サイプレス / ラニ・ロピケット

5月28日(火)

## 真の勇者たち

聖書朗読 使徒の働き 7:51~60

私にとっては、生きることはキリスト、死ぬことも益です。 ピリピ 1:21

私は今まで殉教者に会ったことはありませんが、彼らが信仰のために自分の命を懸けようとしたときにどんなことを思うのだろうと考えます。ネイサン・ヘイル(編注:アメリカ独立戦争のときに大陸軍のために働いた軍人、1755-1776)は、アメリカ軍のスパイとして英国軍に絞首刑に処せられました。殺される前に彼は、「私はこの国のために失う命が一つしかないことを悔やむだけだ。」と述べたと伝えられています。私たちは同じような言葉を神様のために口にすることができるでしょうか。

ステパノは、イエス様のことを最後まで救い主であるとし否定しなかった殉教者です。神の恵みと力に満たされたステパノは、偽りの証言のために捕らえられ最高法院に連れてこられました。石打ちの刑により殺される時、彼はイエス様の十字架上での言葉に倣い、「主よ。この罪を彼らに負わせないでください。」と言ったのです。

イエス様を信じた後のパウロの言葉から、私たちはキリストの殉教者の心を知ることができます。『あなたがたは、キリストのために、キリストを信じる信仰だけでなく、キリストのための苦しみをも賜ったのです。』(ピリピ 1:29)『それは私の切なる祈りと願いにかなっています。すなわち、どんな場合にも恥じることなく、いつものように今も大胆に語って、生きるにも死ぬにも私の身によって、キリストがあがめられることです。』(ピリピ 1:20)

勇気を持ちましょう!キリストのために生き、命を捧げることを選びましょう。

讚美歌 332 主はいのちを

祈り 主よ、私たちの信仰を、命をキリストのために捧げられるほど強めてください。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

バージニア州 マーティンズビル / ゲイリー・ホランズワース

5月29日(水)

## 雨音に耳を傾ける

聖書朗読 使徒の働き 14:8~20

とはいえ、ご自身のことをあかししないでおられたのではありません。すなわち、恵みをもって、天から雨を降らせ、実りの季節を与え、食物と喜びとで、あなたがたの心を満たしてくださったのです。」 使徒 14:17

ルステラの聴衆は、パウロとバルナバが奇跡を行う姿を見て、彼らが信じる神々であるゼウスとヘルメスが人間の姿となり現れたと勘違いしました。人々は、大急ぎで集まって、彼らを崇めようとしていました。彼らはまことの神を知らなかったのです。その後、ヘルメスだと思っていたパウロが語った真実は、彼らの上に雨のように降り注いだのです。

群衆の勘違いから始まりましたが、パウロは実際に天から雨を降らせる、生ける真の神を証言しました。そして人々は、パウロの言葉を通して、天地を創造された神様のことを聞いたのです。繰り返し雨を降らせ、実りの季節を与えてくださる神様のことをです。パウロとバルナバは、人々の誤った解釈を正し、真の生ける神に立ち返らせようと、休むことなく働きました。

何千年たった今でも、畑を耕す人々は、仕事の手を止めて天を仰ぎ、恵みの雨をくださる唯一の真の神様に感謝します。私たちが今日あるのは、パウロとバルナバの労苦とキリストへの献身によってなのです。雨を降らせてくださる生ける真の神様と出会えたことに感謝します。

聖歌 570 雨をふりそそぎ

祈り 天におられる私たちの神様。恵みの雨とすべての実りの季節に感謝します。あなただけが、まことの神様です。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。



テキサス州 グランベリー / クリス・フリッツェル

5月30日(木)

## 望 み

聖書朗読 ローマ人への手紙 8:18~25

信仰は望んでいる事からを保証し、目に見えないものを確信させるものです。  
ヘブル 11:1

望みというものは思っているよりも複雑です。転職がうまくいきますように。家計が守られますように。今夜美味しい食事が食べられますように。台風による被害がありませんように。このような漠然とした望みを私たちは持っています。しかし、ヘブル人への手紙11章では、信仰と望みを保証と確信に結びつけているのです。私たちが主にあって望むとき、保証と確信が与えられるのです。

主にある望みは私たちの心に賛美を呼び起こします。『神を待ち望め。私はなおも神をほめたたえる。御顔の救いを。』(詩篇 42:5) 父なる神様にある望みは安らぎを与えます。『私のたましいは黙って、ただ神を待ち望む。私の望みは神から来るからだ。』(詩篇 62:5) 神様にある望みは喜びと平和と力で満たしてください。『どうか、望みの神が、あなたがたを信仰によるすべての喜びと平和をもって満たし、聖霊の力によって望みにあふれさせてくださいますように。』(ローマ 15:13)

今日の聖書箇所によると、私たちは被造物の滅びの束縛からの解放を待ち望んでいるのです。(20~21節)そして、私たちが目に見えないものを忍耐強く待ち望むなかで私たちは救いに預るのです。そして、まだ見ていないものを忍耐を持って望む、その望みによって救われているのです。(24~25節) 私たちはただ願うのではなく、保証と確信をもって、信仰により与えられることを知っています。

讃美歌 280 わが身ののぞみは

祈り 私の信仰と望みが揺るがされるとき、主よ、どうかあなたによる保証と確信で私を満たしてください。あなたの全きご臨在のうちに安らぐとき、私は癒し、喜び、平安、力、そして救いを見つかるでしょう。イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

テキサス州 アマリロ / ダニー・マイズ

5月31日(金)

## カ づ け ら れ る

聖書朗読 コリント人への手紙第二 4:1~18

ですから、私たちは勇気を失いません。たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。  
コリントII 4:16

美しく老いるのは難しいと思っていますか。増えるシワやハリのない肌を見て落ち込んではいませんか。体力も落ちて、以前のように動けなくなったと感ずることはありませんか。私は、これらの質問にすべて「はい」と答えます。

ほんの少し前、私は歳をとるのが嫌だと愚痴をこぼしていました。その時、息子が、「神様に近づいてるって考えたらいんじゃない。実際、確実に終わりに近づいているんだから」と言いました。この言葉はなんの励ましにもなりません。

でも、少し考えてみると、自分の考えを改めなきゃいけないのかもしれないと思うようになりました。生きている時間が長くなれば、身体は自然と変わっていきます。神様がそのように造られたのです。花が地味な見た目の種から芽を出し、魅力的な美しい姿に変わるように、私たちは墓から蘇り、美しい、カみなぎる、霊的な姿になるのです。そして私たちは永遠に、私たちが想像もできないような荘厳な場所に主とともにいることになるのです。

私たちが自分の見た目やできないことにとらわれてしまうとき、聖書のみことばによってカづけられます。

神様が今日という日を与えてくださったのです。そして、神様とともにある終わることのない喜びという永遠の贈り物を私たちに約束してくださったのです。恵みあふれる神様を賛美しましょう。

讃美歌 529 ああうれし、わが身も

祈り 主よ、私が老いていく身体について文句を言うときお赦してください。あなたとの永遠の命の約束を感謝します。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

ケンタッキー州 ルイビル / グレンダ・ラウントリー

6月1日(土)

## 変化をおこす

聖書朗読 コリント人への手紙第二 5:11~21

というのは、キリストの愛が私たちを取り囲んでいるからです。私たちはこう考えました。ひとりの人がすべての人のために死んだ以上、すべての人が死んだのです。  
コリントII 5:14

変化を起こしたいという言葉が耳にしたことがあると思います。でも、一体どのような変化を意味しているのでしょうか。私たちは、良いようにも悪いようにも変化を起こすことができます。キリストにある私たちが変化を起こすよう命じられたのであれば、それはなにかを良い方向に変えることであり、心掻き立てられ、そのことに忠実に、一生懸命になることなのです。今日の箇所には、『キリストの愛が私たちを取り囲んでいるから…生きている人々が、もはや自分のためにではなく、自分のために死んでよみがえった方のために生きるためなのです。』とあります。

好きなマザー・テレサ(編注:カトリック教会の修道女。修道会「神の愛の宣教者会」の創立者。1910-1997)の言葉があります。“世界を変えなければ、あなたの家に帰って、あなたの家族を愛しなさい”これこそが、私たちが今すぐ、お金をかけずに起こすことができる変化です。この変化は私たちの人生をより良くし、主に忠実な教会を立てあげ、よりよい社会を作ることにつながるのです。

影響力を託されるとは何という恵みでしょう。私たちは周りの人の心にイエス様を植え付ける力を与えられています。人々は私たちの人生にイエス様のみことばの実を見るのです。

さあ、今行ってあなたの家族そして周りの人を愛しなさい。良い変化をもたらすのです。

讚美歌 502 いともかしこし

祈り 親愛なる天のお父様、どうか私達の心にこの世界に良い変化を起こしたいという気持ちを与えてください。それぞれの家庭から始まり、私たちの関わる人々に広まっていきますように。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

カリフォルニア州 サウザンド・オークス / スーザン・ギボニー

6月2日(日)

## 神様の雨量計

聖書朗読 コリント人への手紙第二 9:6~13

十分の一をことごとく、宝物倉に携えて来て、わたしの家の食物とせよ。こうしてわたしをためしてみよ。一万軍の主は仰せられる—わたしがあなたがたのために、天の窓を開き、あふれるばかりの祝福をあなたがたに注ぐかどうかをためしてみよ。  
マラキ 3:10

イスラエルの献金の方法である“十分の一献金”は、礼拝を取り仕切るレビ人の働きを支えるため、交わりのため、やもめや孤児、寄留者の支援に用いられました。十分の一というのは、農民達にとって収穫の十分の一という意味ですが、エルサレムの年次献金、村の献金、貧しい人への支援が重なると、すぐに十分の一を超えてしまいます。それではなぜ十分の一にこだわったのでしょうか。

“十分の一献金”は雨量計のようなものです。私たちの心のなかにあるものを計るのです。献金は、神殿に仕えるレビ人を支えるためのものであり、恒例の祭事に集まる人々の食事を用意するためのものでした。また、被災者や困窮者をコミュニティ全体で助けるために用いられました。全てはこの“十分の一献金”を使って行われたのです。

“十分の一献金”こそ、神様から奪うのではなく、神様にお仕えする心、また単に社会の資源を使うのではなく、社会を支える心のすべてです。人々が神様の呼びかけに応答するとき、神様は天の窓を開き、祝福を降り注いでくださるのです。

新聖歌 382 心から願うのは

祈り 神様、私達に純粋な心を与えてください。イエス様がなされたように、助けを必要としている人たちに目を向け応えることができますように。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。



オクラホマ州 エドマンド / ハロルド・シャンク